

# 若あゆ



R02.7.13  
No.7

男26名女26名計52名

学校教育目標「夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気あふれる横田っ子」

## ふるさとを知り、横田のよさをみつけよう。 ふるさと学習



今年度、本校では、「ふるさと学習」と称して各学年で「いきる」「かかわる」「そなえる」をテーマにさまざまな学習、活動を行っています。「ふるさと学習」は、東日本大震災を機に岩手県の小・中・高等学校で行われている復興教育をもとに、自分たちが住む「横田」「陸前高田市」を知り、よさを見つけ、さらには、「自分たちのふるさと、郷土を愛する心を育てる」ことをねらいとしています。

6月には、「ふれあい交流会」（かかわる）、「米作り体験活動（田植え）」（いきる、かかわる）を行いました。今回は、2・3年生の「地域探検」と6年生の「総合的な学習の時間 震災復興の様子」について紹介します。



水天宮について及川  
員さんから教えて  
いただきました。



遠山不動尊（オシラサマ）につ  
いて遠山さんから教えていた  
だきました。



6年生が震災前と震災後の様  
子について渡邊雅史さんから  
教えられている様子です。



5.高田松原  
①航空写真  
震災前と震災後の高田松原で  
す。

左の写真は、3年生が、社会科の町探検で横田の「水天宮」と「オシラサマ」について見学している様子です。水天宮は、大きな建物なのでわかりやすいのですが、オシラサマについては、子どもたちが通う通学路のそばに祀られていることを知り、横田の秘密をまた一つを発見した子どもたちです。

震災から9年が経ちました。地域コーディネーターの白川さんにもお世話いただき、震災前と震災後の陸前高田市の様子の変化について実際の写真をもとに渡邊雅史さんにお話をさせていただきました。

震災前の陸前高田市の様子を記憶している子どもはほとんどいませんが、写真で見る市の様子の変りようにただただ驚いていました。ふるさと陸前高田が、これからまたどのように変わっていくのか、また、震災をどう語り継いでいけばよいのか考えさせられた時間でもありました。

## 今年も読み聞かせが楽しみです。 お話ペパンさんよろしくお願ひします。

今年度も「お話ペパン」さんに朝活動や自習時間に横田小学校に来ていただき、読み聞かせをしていただいています。子どもたちも「今日はどんなお話かな？」と楽しみにしています。学校からのおたよりで月予定にお話ペパンさんの来校日も載せていますので機会があれば、どんなお話を聞いてきたか、お子さんと話してみたいかでしょうか。



2・3年生の朝の読み聞かせの  
様子です。



## 短冊に願いを込めて！ 七夕飾りをホールに飾りま した。

7月7日は過ぎてしまいましたが、子どもたちが自分の願いごとを書いた短冊を佐々木用務員さんにとってきていただいた竹につるしてホールに飾りました。子どもたちの願いごとは、様々ですが、みんなの願いが天に届くといいですね。

短冊は、七夕終了後に子どもたち一人一人に持たせました。お子さんがどんな願いを短冊に込めたのかお話ししてみてください。ちなみにわたしの願いごとは、「早く、新型コロナウイルスが治まり、子どもたちが元気に楽しく学校で生活できますように」です。

この写真は、5年生が自分の願いを書いた短冊を（外に  
いるつもりで）空に向かってかざしているところです。

ちなみになぜ短冊を竹に飾り付けをするのか分かりますか。それは、竹は、冬でも鮮やかな緑色をしていることが多く、昔から神聖な植物だと考えられていたからだそうです。神様に願いごとをする＝神聖なもの＝竹ということなんですね。



7月7日に飾り付けをした竹をホール  
に飾りました。



## 1年生 音読発表会

4月の入学式から約3ヶ月、ぐっと力を付けた  
子どもたちです。

先日、1年生のわたなべ ゆうやさんから「大きなかぶの音読発表会をするので見に来てください」と招待状をもらいました。

発表会当日まで毎日、1年生の音読練習の音が校長室まで届いていましたので発表会がとても楽しみでした。発表会の日、緊張した面持ちでしたが、それぞれの役割に沿って「大きなかぶを力を合わせて抜く様子が表れるように」みんなで力を合わせて上手に音読できました。1年生の皆さんは、音読だけでなく、挨拶もしっかりできる子どもたちです。学習したことが普段の生活にもしっかり生きている証拠です。（この力は、新学習指導要領でも求められている力です。）これからの1年生の成長が楽しみです。



みんなで力を合わせてかぶを抜くこと  
ができましたよ。

## 今後の学校行事・PTA活動について

7月2日（木）に今後のPTA活動について執行部会、役員会が行われました。特に新型コロナウイルス感染リスクを踏まえ、今後のPTA活動の見直しについて学校から資料をもとに実施の可否、配慮事項、検討事項について話し合いが行われました。検討結果については、すでにお知らせしておりますが、PTA活動の中でも最も大きな事業であるミステリーツアーについては、PTA全会員を対象にアンケートをとり、その結果を踏まえて実施するかどうかを検討することとしました。

実施に当たっては、子どもたちの安全確保が最優先となりますが、PTAにとって有意義な事業でもありますので様々な角度から検討を加え、実施の可否について慎重に決定していきます。

### 【お詫びと訂正】

校報「若あゆ」6号（前号）の食指導の記事中3年生の食指導になっていましたが、正しくは、4年「おやつを取り方を考えよう」の間違ひでした。お詫びして訂正いたします。



PTA

